

JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報(月刊) ジェービーイー・ニュース

2021

3

Issue No. 389

- 1 商工部会・US Japan Council共催ウェビナー報告
- 2 JBA特別経済セミナー報告
- 3 JBA会員企業インタビュー
- 4-5 各部会からのお知らせ
- 6 3月、4月のイベントカレンダー

編集・発行 Japan Business Association of Southern California
1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone: 310-515-9522

制作協力 Lighthouse

©JBA 2021 本誌掲載の記事・写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

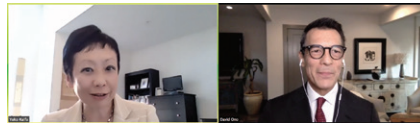
商工部会・
US Japan Council共催

「2020年米国大統領選挙と今後の展望」ウェビナー報告

去る1月26日、デイビッド・オノさんを講師に迎え、ジャーナリストの視点から見た「2020年米国大統領選挙と今後の展望」ウェビナーを、海部優子ジャパン・ハウス・ロサンゼルス館長との対談形式で開催した。

深刻なアメリカ社会の分断

最初に海部さんが「新型コロナウイルスのパンデミックは、オノさんのジャーナリストとしての仕事にどのように影響を与えましたか」と質問すると、オノさんは次のように答えた。「レポーターの安全を優先させるようになりました。マスク着用も必要ですし、さまざまなプロトコルを遵守しなければなりません。ニュース番組でも『Zoom』や『Skype』を駆使することになりました。番組制作に携わる私たちは、そのような新



【講師】

デイビッド・オノさん

『ABC7 Eyewitness News』および『KDOC-TV Eyewitness News』アンカー。ABC7には1996年に入局。ドキュメンタリー番組の製作に携わり、25回のエミー賞を受賞。

しい方法にすぐに適応しました。ただし、大統領選の取材は困難を極めました。バラク・オバマ氏やヒラリー・クリントン氏が出馬した際には、選挙戦の後ろで何が起っていたかを取材することができました。しかし、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により現地での細かな取材が叶いませんでした。大統領選の報道に関しては、オノさんは極力、ニュートラルな立場を維持するように努めたと強調した。「現在、アメリカ国民は分断されており、民主党のサポーターは共和党を激しく責め、共和党側は民主党側を責める姿勢で対立しています。そのような中であって、私の使命は最善の声を届けることだと認識しています」。

続いて、「バイデン大統領はユニティー(協調)の重要性を謳っていますが、それは可能だと思いますか」との海部さんの質問には、「簡単には実現しないと思います。前述したように、今のアメリカは分断されています。例えば、右寄りの人たちは『Fox News』しか見ようとしません。自分の欲

しい情報にしか触れようとしていないので」と、現在アメリカが直面している深刻な分断を改めて強調した。

ワクチンに期待

パンデミックの今後については、「バイデン政権ではパンデミックを上手に管理できると期待しています。多くの人々がワクチンを接種できるようになっており、100日間はマスク着用を義務付けるなど、トランプ政権とは真逆の対策が取られています。私もワクチンを接種して自由に旅行できるようになりたいです」と楽観的な見方を示した。

最後に日本企業にとっての懸念でもある税金問題に触れた。「税金はバイデン政権での大きな課題です。特にここカリフォルニア州では、大企業であっても高額な税金を支払うことが難しくなっており、日系を含む多くの企業がここを去ろうとしています」と、オノさんは新政権が何らかの解決策を提示することを期待すると述べ、セミナーを締めくくった。

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は 米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします

- ・渡米前に日本で米国の銀行口座を開設し、生活費を送金したい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の銀行口座を利用もしくは帰国後に解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**

(フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。

 **UnionBank®**

A member of MUFG, a global financial group

「バイデン大統領就任後の 米国経済、金融市場の展望」 ウェビナー報告

去る1月27日、新型コロナウイルスの影響下にある新政権誕生後の米国経済の展望に関するウェビナーを、みずほフィナンシャルグループの中村さんを講師に迎えて開催した。

【講師】

中村正嗣さん

みずほ総合研究所ニューヨーク事務所長。2002年みずほ銀行入行。みずほ総合研究所で米欧マクロ経済・長期金利、為替相場などを担当した後、みずほ銀行産業調査部で産業総合、国内産業政策分析を担当。共著書に「ソブリン・クライシス—欧州発金融危機を読む」（日本経済新聞出版社）。



経済正常化は2022年？

パンデミックという前例のない状況下での米国経済は、2020年の7-9月期に急回復したものの、依然危機前を3.4%下回る水準であると中村さんは現状を説明した上で、今後の先行きはワクチンの普及にかかっていると語った。

「需要が回復する分野と遅れる分野、回復パスは二極化すると予想されます。今年に入ってワクチンが普及するに連れ、経済は正常化に向かっていくのではないかと見えています。しかし、集団免疫を獲得できるまでに1年かかります。本当の意味での経済正常化は2022年の年初という想定です。また、ワクチンに関しては、有効性と安全性の評価において未知な面もあります。次の冬を迎えた時に期待ほどの効果が表れない場合、経済回復のパスも変わってきます。1月現在、米国でのワクチン接種は低調な滑り出しです。今後、どこまで加速できるかが課題となるでしょう」。

次に、米国経済の回復ペースはリーマンショック時よりは早いですが、今回の場合、セクターごとの差が著しく大きいことも特徴だと述べた。財消費、IT投資、住宅投資はV字回復で、しかもすでにコロナ危機前の実質GDPを超過している。

中でも特に好調な分野は住宅市場であると触れ、「持ち家の世帯数が昨年から急増しています。これはコロナ危機を受けてリモートワークが推進されたことの流れです。金利が過去最低水準であることも需要を喚起しています。引き続き、住宅市場の好調は続くと予測され、在庫不足が問題となっています。価格急騰が当面のリスクです。また、資材の高騰と人出が集まりにくくなっていることも懸念材料となっています」と語った。

また、製造業は緩やかに回復している。「(現場で) 感染の抑制措置を取らないといけません。従業員が感染した場合にはフル操業が難しくなります。しかし、受注自体は好調で、受注残も抱えています」と、製造業の現状が語られた。

反対に回復が遅れそうなのは旅行関連セクターだ。「新型コロナウイルスの状況が収束に向かわないと難しい分野です。インバウンドは昨年落ちたラインからそのまま横ばいの状態が続いています。アウトバウンドの消費も減っています。その関係で、ホテルなどレジャー関連の建設投資の低迷も続いています」。

問われる新大統領の手腕

続いて、バイデン政権誕生による今後の影響については、「議会の過半数を民主党が占めているので、打てる対策もありますが、そのためには民主党の議員全員の一致団結が大前提となります。バイデン大統領のリーダーシップが問われるところだと」と、新大統領の手腕が今後の鍵になると述べた。

また、「バイデン大統領の公約は増税を含め、民主党内での意見をそのまま盛り込んだものとなり、それをそのまま通すのはかなり難しいと思われます。時間的な制約を考えると規模感を絞って、優先順位を付ける必要があります。それでうまくいったとしても、景気への影響は来年以降となります」と状況の転換までは時間がかかりそうだと展望した。

さらに、バイデン大統領の経済対策の柱は、「米国製造業優遇」「グリーン/環境投資」「育児・介護・労働者支援」「人種の公平性」であると紹介した上で、「保守的な司法判断により、経済政策におけるバイデン政権の自由度が低下しています。バイデン政権も行政権限などで実現可能な政策に傾斜しやすくと見られますが、例えば、気候変動対策などでは、オバマ政権

のように既存法の解釈拡大で規制を進める手法が使いにくくなる可能性もあります。州に対する連邦政府の権限や、行政府の裁量を限定的に解釈する傾向が強まる展開が予想されます。新規立法についても、州に与える影響との関係で政策の範囲が制約される上に、行政府への詳細な指示を明記した立法が必要となり、難易度が高まります」と、バイデン大統領が提示している柱がそのまま実現されるには、最高裁の構成が変わったことから司法の障壁があるということが示された。

外交政策に関しては、「トランプ政権からの大きな転換が見込まれます。(バイデン政権の外交政策の) 実態が見えてこないのが正直なところですが、外交の優先順位は高くないようです。今後も様子を見ていく必要があります」と、トランプ政権とは大きく変わる見通しながらも、まだ不透明であると語った。

最後に行われた参加者との質疑応答では、「中国企業の排斥傾向は、新政権でこの先変わるでしょうか」との質問が寄せられた。中村さんは、「大きくは変わらないでしょう。中国に強硬に出たのは議会主導の政策であり、それを戻すのは難しい状況です。バイデンは多国間協調を主張していますが、具体策が見えていません」と新政権発足後も、特に大きな変化がないとの見方を示した。

次に寄せられた「ビットコインをはじめとする仮想通貨の今後はどうでしょうか」との質問には、「(ビットコインは) 便利な決済方法ではありますが、知名度が上がって普及してきたからこそ、コンプライアンスや消費者保護が重視されてきている状況かと思えます。犯罪への悪用など大丈夫かと注視されており、投資の対象になるのかなど、まだ結論を出すのは難しい段階です」と答えた。

最後の質問、「米国内における景気回復の地域ごとの差について見通しはどうでしょうか」に対しては、「カリフォルニア州は、雇用や小売消費が新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。他方、テキサス州やフロリダ州の景気の悪化ペースは比較的緩やかです。それらの状況の差は、後者の州の知事が共和党であり、コロナの感染抑制のための制限措置をあまり課していないことから生まれています。経済という物差しで見れば、政策の違いがそれぞれの州に違いを生んでいます」と答え、セミナーを締めくくった。

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
#25

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活に迫るコーナー。



お話をうかがったのは
菅沼雄太さん

JALUX AMERICAS, Inc.のCFO。2009年、株式会社JALUXに入社し、航空機部品を取り扱う部署を経て、13年より上海、14年より香港駐在。16年に本社に帰任し、中古航空機の売買部門に配属。20年4月より現職。
Web: www.am.jalux.com

貴社が取り組まれている事業内容、また菅沼さんがご担当されているお仕事について教えてください。

いくつか異なる事業分野がありまして、まず航空機部品の輸出入、日本のお菓子を販売する店舗J.sweetsの運営、ギフト販売のJALショッピングアメリカ、さらに道路補修材AQUA PATCHの製造販売です。J.sweetsはアメリカ国内に10店、カナダに1店舗展開しています。

私は、セクレタリー・アンド・トレジャラーとして管理部門の責任者を務めておりまし

JALUX AMERICAS, Inc.

お菓子から航空機部品まで実に幅広い分野の事業をカバーする商社、JALUX AMERICAS, Inc.の菅沼さんにお話を伺った。

て、経理、人事、財務、総務、IT部門などを管理しております。昨年の6月に赴任してきましたばかりです。

貴社の企業風土とは？

業務の分野が異なる分、多様な人材が揃った会社だと言えます。従業員はリテールのスタッフも含めると100名ほどになります。年に2回、サマーパーティーとクリスマスパーティーに多くの従業員が集まります。残念ながら昨年のサマーパーティーはパンデミックの影響で中止となったのですが、クリスマスパーティーはバーチャルで開催しました。

ビジョンについてお聞かせください。

J.sweetsでは、日本のお菓子、文化を全米に届けたいです。昨年は新しい試みとしてミツワのトランス店に京都・宇治 辻利兵衛本店の本格的な抹茶をご賞味いただけるYAMARIを開店しました。また、パンデミックで店舗にお客様がお越しいただくことがなかなか難しい状況を踏まえ、ECサイトのショップを充実させました。コロナ後も、実店舗とオンラインを組み合わせ、日本のお菓子を広めていきたいです。航空部品に関しても、現在は航空業界が停滞している状況ではありますが、今後必ず回復すると信じております。どんな状況下でも、常に安心して安全な空の旅に貢献できるよう、部品供給の面から支えてまいります。



ミツワトランス店のJ.sweets。

南カリフォルニアの印象はどのようなものでしたか？ここで挑戦したいと思っている趣味などはありますか？

まずは日本の物がなんでもあることに驚きました。以前、駐在していた上海や香港に引けを取らないほど、ここ南カリフォルニアも日本の物資が非常に充実しているという印象です。

興味があるのはスポーツですが、メジャーリーグの観戦にまだ行けていません。昨シーズン、地元のドジャースやNBAのレイカーズが優勝したということで、自分もその熱狂を体験したいと待ち遠しい気持ちです。

JBAは今、日本食レストランの支援活動をしています。お気に入りの日本食レストランやメニューを教えてくださいませんか？

この状況で、当地の日本食レストランであまり外食できていません。好きな料理は魚料理です。おいしい魚料理のお店があればぜひ行ってみたいと思っています。

監査・税務・コンサルティング・日米会計総合サービス プレーガーマティス会計事務所

全世界の主要17都市に事務所を置く世界トップ10の
国際会計事務所の日系部門「NAGANO MORITA」が
米国進出・事業拡大を徹底サポートします！

pragermetis.jp

NAGANO
MORITA
a Division of

Your world. Worth more.

プレーガーマティス
PragerMetis

各部会からのお知らせ

教育文化部会

「第2回 おにぎりアクションプログラム」に参加しての感想文

文：MUFG Union Bank, N.A.・前川洋平さん

去る2月3日に開催された「おにぎりアクションプログラム」に、JBA教育文化部会の代表として参加しました。当部会からは昨年12月の開催に続き、2度目の参加となりました。「Zoom」を使ったバーチャルイベント形式で、グレンデルにあるVerdugo Woodlands Elementary Schoolの生徒さん約30名と、Aya先生をはじめとする学校関係者の方々が参加しました。主催者であるTABLE FOR TWO (TFT) の上島様による講義では、おにぎりが日本文化に根ざしたソウルフードであることを分かりやすく紹介。また、プログラムを通じた寄付が飢餓地域などの学校給食に充てられているということも説明され、参加者の皆さんに社会貢献活動について考



おにぎりに使用した食材の数々

えていただく、いい機会にもなったのではないのでしょうか。

メインとなる体験パートでは、10年以上の日本在住歴があるDebra Samuelsさんが講師を務めました。生徒さんたちは「てぬぐい」を頭に巻いて、ご家族と一緒に楽しそうに、時に真剣な眼差しでおにぎり作りに集中。型抜きを利用したかわいいパン

ダちゃんおにぎり作りにも挑戦し、完成した際には皆、とびぎりの笑顔を見せてくれました。

今回、このような有意義なプログラムに関与する貴重な機会をいただいたこと、主催者のTFT様とJETRO様に厚く御礼申し上げます。アメリカの学校の生徒さんたちが日本文化に触れる貴重な機会として、今後も継続的なサポートに努めていきたいと思えます。

ダウントウン地域部会

「リレービデオメッセージ」 2月の新着動画配信のお知らせ

文：ダウントウン地域部会担当委員

ダウントウン地域部会では、部会員の方々から投稿していただくコロナ禍中の自粛生活・在宅勤務を楽しくするさまざまな動画を随時配信しています。そして、去る2月には奥谷英子さんから寄せいただいた動画を新たに配信しましたので、ぜひご覧いただけたいと思います。

「Okuya's スペイン語講座」

<https://youtu.be/oQoVnJjSgQ>

提供：奥谷英子さん (JETRO Los Angeles)

「フードトラックでタコスを買う」というインチュエーションを通して、実践的なスペイン語会話が学べる動画です。



子どもから大人まで大勢が楽しく参加した、ダウントウン & サウスベイ地域部会共催の「ウォークラリー In トランス」(p.5)。

ダウントウン & サウスベイ地域部会

「ウォークラリー In トーランス」に 家族が参加しての感想文

文：EOS Accountants LLP・ドンビル恵美さん

1月24日、「ウォークラリー In トーランス」がウィルソンパーク周辺で開催されました。当日はお天気に恵まれ、暖かな一日だったそうです。というのも、申し込んだ私当人は不参加となり、全て娘2人と主人に任せての参加でした。日本語の分からない主人と、日本語がとても危うい2人の娘たち。本人たちが私が不参加ということでモチベーションが落ちてしまい、やる気の出ないままのスタートでした。

ところが、帰ってきた子たちが言うには、とても楽しく、たくさん歩いた健康的な一日となったそうで、トーランスのダウントウンではこれまで気が付かなかったことも知ることができ、新しい発見が多々あった有意義なものだったそうです。ご担当の方々には英訳していただいたり、お手数をかけたようで恐縮しています。でも英語人3人でがんばった結果、びっくりの一等賞を頂きました。

後に、結果発表の際、どういう形で点数を判定されていたのか知りましたが、非常に公平で、ただ早ければ良いというものではなかったところが、この行事をさらに楽しみ、リラックスしながら終わられた理由だと思いました。今から次回が楽しみです。関係者の皆様、お世話になりました！

オレンジカウンティ地域部会

「Online 料理教室」に 参加しての感想文

文：Mitsubishi Electric US, Inc.・松尾英二さん

今年は料理教室を、初めて「Zoom」を使ったオンラインで2月6日に開催しました。講師はオレンジ・カウンティ在住で長年にわたり料理クラスを主宰されている大岩慶子さん。「家にある調理器具、どこでも入手できる食材で作る簡単なレシピ」がテーマで、バレンタインデーも近いことから「サーモンタルタル」「プライムリブ」「パンナコッタ with イチゴソース」というメニュー。簡単なのにすごくおいしい、短時間で作れるフルコースメニューです。

当日は、お子様とご一緒、ご夫婦で、男性がお一人で、など、いろいろな形で参加していただきました。慣れない料理で事前

の下準備には少し時間がかかりましたが、始まってみると、先生の説明に沿って3品を次々に調理し、夢中で作っているうちにあっという間に時間が経ってしまいました。

また、「プライムリブはまず茹でる」など、今回参加しなかったら知らなかったことも多く、プロのレシピの違いを実感しました。さらに、「お肉がやわらかく仕上げられた」とか「イチゴのフレッシュソースがおいしかった」などなど、参加者の方からもよい感想をいただきました。

引き続きの懇親会は、お昼どきでお酒を飲みながら、とはいきませんでした。大岩先生にも参加いただいたことから、先生への質問コーナーも始まり、先生ご愛用のオリーブオイルやバルサミコ酢などもご紹介いただきました。今回は初めてのオンラインでの料理教室で試行錯誤しながらの準備と当日の運営になりましたが、テーマやメニューを変えてまたの開催を期待したいイベントでした。

あさひ学園だより

入園・入学検査をオンラインで実施

文：あさひ学園事務局

あさひ学園では、令和3年の新年度入園・入学を受け入れるための検査を実施しました。2月7日は、幼稚部と小学1年生そして、2月14日には高等部の入学面接検査を実施しました。ワクチン接種も現実的

になり、Covid-19感染も収束に向かい始めているようですが、まだまだ対面で多数の人が集まることができません。そのため、本校の入園入学検査は、今年度の行事と同様にオンラインで実施しました。100人を超す幼稚部小学1年の希望者とその保護者。5室の面接室を設定し、15分間隔で実施しました。検査では、恥ずかしがる子どもたちに面接官は優しく声をかけ、子どもたちは隣の保護者に安心しながらリラックスして臨んでいたようでした。

一方、高等部の面接では、50人近くの希望者は、本校中学部在籍生が9割ですが、外部から希望される方もありました。いずれの希望者も、同条件の下、オンラインの4つの検査室（ブレイクアウトルーム）にて個人カードを記載した上で、面接に臨みました。高等部はサンタモニカ校のグローバルコース、トーランス校、オレンジ校の3校があります。今年度は、面接検査のみ実施、入学後の一定期間の後に論文と国語検査を実施することにしています。オンライン面接では生徒1名につき2名の検査官が担当し、入室した時には緊張の面持ちでしたが、高等部への進学の意味などを問われると、その強い意欲と希望をしっかりと伝えることができました。オンライン面接ではありましたが、生徒一人一人の個性と将来の夢を十分に知ることができ、本校高等部で学びを深めてほしいと強く感じた面接検査でした。



バレンタインデー向けのメニューに挑戦する参加者の皆さん。

3/4月のJBAイベントカレンダー

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

3/4 (木) ダウタウン地域部会 期末総会・懇親会 ダウタウン地域部会	3/5 (金) サウスベイ地域部会 期末総会・懇親会 サウスベイ地域部会	3/7 (日) バイリンガルセミナー ～継承日本語教育とグ ローバル人材の育成～ 教育文化部会主催	3/7 (日) KENZO Wine Tasting ダウタウン地域部会
3/12 (金) JBA 60th Anniversary Forum 商工部会	3/13 (土) リトル東京 deナイト 2 ダウタウン地域部会	3/26 (金) 2020年度 JBA総会 & あさひ学園総会 JBA	

新入会員

DaiEi Papers (USA) Corp.	10900 E. 183rd St., Suite 241, Cerritos, CA 90703	☎ 714-523-0900
JPT AMERICA INC	243 E. Redondo Beach Blvd., Gardena, CA 90248	☎ 310-719-9999
Trio System Plans Corp.	5000 Birch St., West Tower Suite 3000, Newport Beach, CA 92660	☎ 949-475-6807

見積り作業が大変でござす。



注文頂いて有難いが、カスタマイズ製品の

そんな悩みをお持ちなら、

Hitachi Solutions

見積り作業の標準化・自動化を支援します。

今ならSumo-san
差し上げます。



お問合せ **+1-650-615-7621**
info-jp@hitachisolutions.com

Webをチェック <https://global.hitachi-solutions.com/>

担当: 高木・黒田まで

Microsoft Partner



Gold Enterprise Resource Planning
Gold Application Development
Gold Cloud Business Applications
Gold Data Analytics
Gold Cloud Productivity

スタート・パシフィック

STARTS

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。

日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールドトランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:
TEL (310)782-7877
21151 S. Western Ave. #227, Torrance, CA 90501
info@startsla.com
www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:
TEL(212)599-7697
www.startsnewyork.com

●サンノゼ店:
TEL(408)380-2499
www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:
TEL (03)6202-0111(代表)
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
スタート八重洲中央ビル
www.starts.co.jp

●ハワイ店:
TEL(808)947-2280
www.startshawaii.com

●ダラス店:
TEL(646)708-6194
https://kaigai.starts.co.jp/dallas